

愛知大学法科大学院キャリア支援協議会の活動報告

2019年8月7日(水)

2019年7月18日(木)に、第1回の愛知大学法科大学院キャリア支援協議会が愛知大学車道校舎13階会議室で開催され、同協議会が発足しました。この協議会は、修了生との意見交換の場などで、かねてから出されてきた熱い要望に応える形で開催されました。

同協議会設立の主旨は、司法試験に受からなかった修了生および法科大学院を中退して進路変更する院生向けのキャリア支援が、現状では不十分であり、もっと充実させて欲しいという修了生からの要望に応える形で行われました。この会を構成するのは、伊藤博文・法科大学院院長、森山文昭・教務主任、杉本みさ紀・愛知大学法科大学院同窓会会長をはじめとして、本院修了生である弁護士、企業内弁護士、裁判所書記官、名古屋市役所職員、法律事務所パラリーガルといったOB/OGであり、自らの体験を踏まえて望ましい今後のキャリア支援方法について、議論を交わしました。

この会議は、キャリア支援の重要性の確認と、学内にあるキャリア支援センターとの連携について話し合い、次回はキャリア支援センターとの連携について模索することとしました。

これを受けて、7月27日(土)には、第2回協議会が愛知大学名古屋キャンパス(ささしま)で行われ、名古屋キャリア支援センターの視察と樋口裕嗣キャリア支援課主幹による説明を受け(右写真)、その後さまざまな議論が行われました。この会議では、今後のキャリア支援の方向性が確認されました。

こうした活動を企画・推進していただいた愛大法科大学院同窓会に感謝するとともに、法科大学院としても今後もこの協議会を維持・発展させていきたいと考えています。



法科大学院院長 伊藤博文